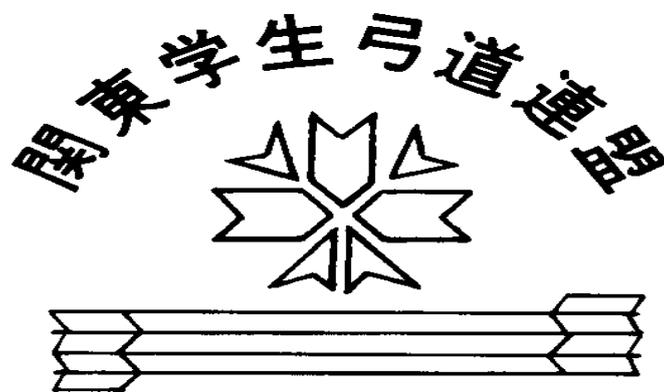


# 第 27 回関東学生弓道選手権春季トーナメント大会

## 決勝大会



期日：平成 31 年 5 月 4 日（土）

場所：東京武道館 近的弓道場

主催：関東学生弓道連盟

後援：全日本学生弓道連盟

神奈川県弓道連盟

## 【日程】

### 5月4日(土)

9:00	開場
9:15	主将会議(近的射場内)
9:15	選手受付・立順届提出 終了(OB戦は9:30まで)
9:30～	開会式

#### 的付 [尺二星12個]

10:00(準備整い次第)～	競射 (決勝トーナメント進出戦1立目・個人戦1立目) (決勝トーナメント進出戦2立目・個人戦2立目)
----------------	---

※(昼食時間はとくに設けません)

#### 的替 [尺二星12個]

13:20	OB対抗戦
14:20	競射 (決勝トーナメント1回戦)

#### 的替 [尺二星12個]

(決勝トーナメント準決勝戦)  
(決勝トーナメント決勝戦・3位決定戦)

#### 的替 [八寸星必要分・線的1個]

(個人戦決勝射詰)

17:00	閉会式
18:30	解散

※ 状況によっては、大会本部の裁量で時間を変更する場合がございます。時間には余裕をもってお越し下さい。

※ 主将会議に無断欠席された場合は、棄権したものと見なします。必ず出席して下さい。

## 【選手受付】

- 立順届は必ず部印を押印して、9時15分までに8通(内7枚はコピー)を受付に提出してください。但し、OB戦に関しては9時30分とします。(遅延は不受理。)
- 4日朝9時15分までに、団体・個人とも必ず受付をして下さい。(受付をしないと棄権とみなします。)
- 立順表・交替届は、文字・部印共にコピーで構いませんが、部印がコピーではないものを必ず1枚用意するようして下さい。(部印が無い場合は、主将印で構いません。)
- 未登録の者及びすでに提出された選手名簿に記載されていない者が出場した場合、その者の矢は無効とします。

## 【主将会議】

- 主将会議終了時までに出席の確認できない団体校・個人は棄権とみなします(失格)。また、遅刻による不利益・損失は一切補填しかねます。
- 団体は主将(代理可)を含め1名以上、個人は本人または代理人1名が出席して下さい。
- 入場後すぐに主将会議となりますので、代表者の方は準備の前に射場にお越し下さい。
- 団体・個人立順をくじ引きで決めます。
- その他にも各説明、諸注意があります。
- 棄権しない限り参加が必要です。

## 【開会式】

----選手宣誓----

- 立順のくじにおいて、男子団体で1番を引いた大学の代表者の方に選手宣誓をしていただきます。台本などはこちらでは用意いたしません。

## 【試合運営】

- 全日本学生弓道連盟規約ならびに関東学生弓道連盟規約、大会規約(関東学生弓道選手権春季トーナメント大会規約)の順に準じます。
- 試合の制限時間は、男子10分、女子7分(行射開始のアナウンスから落4本目離まで)です。但し、弦が切れた場合など射場審判が必要と認めた場合に限り、1分までロスタイムを認めます。

一分前、三十秒前にベルにて合図を出させていただきます。

----諸則----

- 試合は、男子団体、女子団体、男子個人、女子個人の順巡りで行います。
- 各種目内の組合せは、くじ引きによる順番で行ないます。
- 的は第1射場に6個、第2射場に6個つけます。男子は5、5の2チームで入場（それぞれ前詰）、女子は3+3、3+3で4チーム入場します。
- 各対戦で同中の場合は、同中競射（1手・1本）を行い各試合毎に勝敗をはっきりしてから次へ進みます。介添えは予備矢を持っているようにしてください。
- 取懸けて弓が膝から離れた後の引直しは禁止です。
- 行射中の狙いの指示・体に触れる指導は厳禁です。
- 「引き戻し」等の判定は、射場審判の判定によります。
- 行射中、「的の傾き」、「横矢」が出た場合は、介添えを通じて射場審判に申し出てください。ただし、行射を行っている立ちの大前に取り掛け及び打ち起こしをしないように伝え、尚且つ落ちまで行射してください。この二つの条件を満たした上で、介添えは初めて射場審判に申し出をすることができます。この条件を満たしていない場合、射場審判へ申し出をしても、中央審判は行射を止める指示は出来ません。
- ※ 連絡があった際は第1射場、第2射場とも行射を停止します。
- ※ 連絡がない場合は行射を続行します。
- 看的表示盤に異議ある場合は、矢取りを開始する前までに射場審判に申し出て下さい。矢取りを開始した後の意義は一切受け付けません。
- 一度交代した選手を再度チームへ入れることはできません。
- 第3控への招集がかかった後の選手交代はできません。
- 第3控での点呼に間に合わない選手、第2控から第1控に移動するときに不在の選手は失格となります。
- 同校内でもA・B・Cチーム間の選手の入替はできません。

----入退場----

- 第1控には、前の立ちの先行しているほうの落3射目弦音で入場します。
- 行射の終了した選手は順次、第一射場は前の出口から、第二射場は一番後方の出口からただちに退場して下さい。介添えに限って、的中確認が済むまでは中央審判付近に残っていて結構です。  
ただし、トーナメントの際には、結果がでるまで本座で待機して下さい。
- 射位へ進む、行射を開始する(再開する)際は、放送に従ってください。

----諸注意----

- 個人戦においては、「会～弦音」＝「打起し」を原則として行射して下さい。
- 皆中時の拍手以外、**応援は一切禁止**です。
  - ※ 選手間での声の掛け合い、監督・介添えへの著しい返答も禁止です。
- 道場内には、出場選手、介添え、監督のみが入れます。
  - ※ その他の方は、道場内に入れません。
- 監督の助言は、介添えを通して行なってください。
  - ※ 直接の助言は控えてください。
- 介添えリボンは団体 1 枚、個人 1 枚。監督リボンは各校 1 枚。団体と個人、男子と女子が重複して出場する場合でも、1 校あたり合わせて 3 枚が上限となります。
- 競射における**フラッシュ撮影は厳禁**です。
- 4 人未満の立は前詰で行います。
- 矢返しは巻き藁場入り口となっています。但し、同中競射はこの限りではありません。
- 競技・運営に関する異議は、各校責任者のみが大会運営役員に対して可能です。
- 中央ホールでの場所取りは、全て撤去します。
- 武道館開場時には絶対に走らないで下さい。損害の賠償・補填は各自の責任において対処していただきます。また、役員への指示に従わず本連盟に不利益が生じた場合は、損害や不利益の賠償・補填を請求することがあります。
- 当日は他団体が大武道場に入っているため迷惑をかけないように充分配慮して下さい。
- 射場 1 階では、控え選手の召集に支障をきたしますため移動の際は迅速な行動をお願い致します。控え選手以外は利用しないようにして下さい。
- 召集を行いますので、各校 1 名は中央ホールで待機しているようにして下さい。
- サンドルを履いて観客席に入らないで下さい。観客席には各自、自分の下足を履いて入って下さい。
- 各武道場（近的射場・巻き藁練習場・遠的射場等）での飲食は禁止です。（但し、ペットボトルでの水分補給は可）酒類については館内全て持ち込み禁止です。
- 選手の更衣室は、和研修室 2～4 を女子更衣室として利用可。男子は特に設けないので、遠的射場を利用して下さい。
- ごみについては武道館のごみ箱は使用できないので各自持帰って下さい。（受付でゴミ袋を配布します）
- 選手控室は遠的場となっております。
- 武道館使用にあたり、あまりにも悪質な行動が目立つ場合は、執行部の意思に関わらず東京武道館の使用及び試合が一切停止されます。

※部旗を張る場所は左右観覧席の後方にあるロープを使うようにして下さい。

当日は大変混雑すると思いますので、なるべく全ての出場校が部旗を張れるようご協力の程よろしくお願ひします。

また、OB対抗戦のみ出場の大学は部旗を張ることはできませんのでご了承ください。